

全国健康保険協会の健康保険業務・システムの最適化について

【現状と課題】

■ 現状

・健康保険の業務については、社会保険オンラインシステムを利用して、厚生年金の業務と一体的に処理。

(レセプト業務については、社会保険オンラインシステムとは別に、レセプト情報管理システムとして構築。)

■ 課題

* 業務の効率化・合理化

- ・システム化による効率化が可能な業務がある
- ・資格データ等の業務間のデータ突合に時間と手間を要している 等

* 被保険者サービス

- ・現金給付の支払いまでに時間を要している
- ・情報提供機能が十分でない 等

* 保険者機能

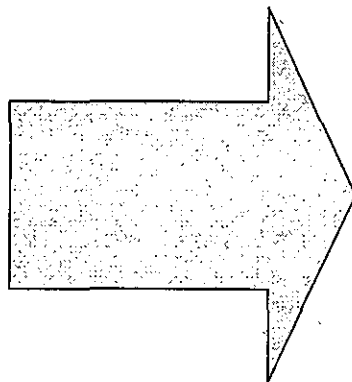
- ・医療費等のデータ分析が困難 等

* システム基盤

- ・メインフレームを中心に構成
- ・独自開発したシステムであるため、制度改革に伴う改良のコストが高い
- ・各システムが独立して構築されており、データの連動が困難

基本理念

- ①業務の効率化・合理化
- ②被保険者サービスの向上
- ③保険者機能の強化
- ④安全性・信頼性の確保
- ⑤経費削減



- ・医療制度改革への対応
- ・社会保険庁改革の推進
- ・IT新改革戦略の推進

※平成18年度予算:13.5億円
(公法人システム関係)

【最適化の実施内容】

○ 業務の効率化・合理化の推進

- ・各種業務処理のシステム化の推進
- ・データの統合管理、業務間の連動性の確保
- ・業務処理の標準化・統一化 等

○ 被保険者サービスの向上

- ・現金給付に係る支払期間の短縮化
- ・任意継続被保険者の保険料の口座振替の導入
- ・インターネットを活用した情報提供の推進 等

○ 保険者機能の強化

- ・健診・健診データ記録等の義務化への対応(健康保険事業財団の健診システムを最大限活用)
- ・医療費分析等のデータ分析機能の充実 等

○ 費用対効果に優れた拡張性の高いシステム基盤の実現

- ・汎用パッケージソフトウェアの活用
- ・システムのオープン化
- ・サーバーの集中化 等

○ 社会保険オンラインシステムとの適切な連携の確保

- ・適切なインターフェースの確保

○ オンラインの利用促進

- ・電子申請の利用促進
- ・レセプトのオンライン化への対応

○ 安全性・信頼性の確保

- ・個人情報保護、セキュリティ対策、災害・障害対策の推進

○ 調達施策

- ・一般競争入札、オープンなソフトウェアの採用、著作権等の所有権の取得 等

全国健康保険協会の健康保険業務システムのイメージ

